



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-6516-6	版	11.01
発行日	2024/01/17	前発行日	2023/09/06

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

ジェットメルト™ 接着剤 EC-3768 / 3748-V0-TC / 3748-V0-PG / 3748-V0-Q(JA-7424)

3M スtockナンバー

62-3768-7232-1	62-3768-7234-7	62-3768-9132-1	62-3768-9330-1	62-3768-9830-0
7010366305	7010310223	7000000887	7010330271	7000121345

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

ホットメルト接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H351	発がんのおそれの疑い
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 皮膚
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
-------------	-----------------------------------

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

熱傷を起こすことがある。 溶融物の皮膚への付着を避ける。蒸気が眼に直接ばく露しないようにする。 溶融物が皮膚に付着した場合には、冷水ですすぎ、清潔な布で覆う。溶融物を取り除いてはならない。やけど部位は医師の処置を受ける。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
エチレン-プロピレンポリマー	9010-79-1	15 - 40
臭素系難燃剤	32588-76-4	10 - 30
炭化水素樹脂	営業秘密	10 - 30

スチレン・ブタジエンポリマー	営業秘密	1 - 20
ポリエチレン	9002-88-4	1 - 20
ポリオレフィン混合物	混合物	1 - 10
酸化アンチモン（3+）	1309-64-4	6
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	4.0
エチレン・プロピレン・エチリデンノ ルボルネン共重合物	25038-36-2	< 2

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の冷水で15分以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに大量の水で、少なくとも15分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

アルデヒド
炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素
臭化水素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

シアン化水素
ケトン類
窒素酸化物
アンチモン酸化物

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アンチモン（3+）	1309-64-4	ACGIH	TWA（吸入分画）：0.02mg/m3	A2：ヒトに対して発がん性が疑われる物質
酸化アンチモン（3+）	1309-64-4	ISHL	TLV（8時間）：0.1 mg/m3	
酸化アンチモン（3+）	1309-64-4	JSOH OELs	TWA（アンチモンとして）（8時間）：0.1 mg/m3	2B：ヒトに対して発がん性の可能性がある。
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	ACGIH	TWA（ヒュームとして）：2 mg/m3	

クラス 1 及び 2 以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	9002-88-4	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間): 8 mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じんとして) (8時間): 2 mg/m ³	
不活性あるいは有害なダスト	9002-88-4	ISHL	TLV(計算値) (ダストとして) (8時間): 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	9002-88-4	JSOH OELs	TWA(総粉じん) (8時間): 4mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じん) (8時間): 1mg/m ³	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質: ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する:

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ワックス状固体。
色	淡黄色
臭い	弱い樹脂臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	280 °C [試験方法: クリーブランド開放式]
蒸発速度	適用しない
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	なし。
密度	1.09 g/cm ³
比重	1.09 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	330 °C
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない
揮発性有機化合物	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	0 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。
固形分	100 %

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション 5 の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚の熱傷（加熱中）： 予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

眼の熱傷（加熱中）： 予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

皮膚への影響： 発赤、かゆみ、ニキビ様吹き出物、腫れ物などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
----	----	-----	---------

製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
エチレン-プロピレンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
エチレン-プロピレンポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
臭素系難燃剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
臭素系難燃剤	吸入-粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 51 mg/l
臭素系難燃剤	経口摂取	ラット	LD50 > 7,500 mg/kg
炭化水素樹脂	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
炭化水素樹脂	経口摂取	専門家による判断	LD50 7,000 mg/kg
スチレン・ブタジエンポリマー	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
スチレン・ブタジエンポリマー	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリエチレン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリエチレン	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化アンチモン (3+)	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,685 mg/kg
酸化アンチモン (3+)	吸入-粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.76 mg/l
酸化アンチモン (3+)	経口摂取	ラット	LD50 > 34,600 mg/kg
ポリオレフィン系ワックス	皮膚	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリオレフィン系ワックス	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリオレフィン混合物	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリオレフィン混合物	経口摂取	マウス	LD50 > 8,000 mg/kg
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エチレン-プロピレンポリマー	ウサギ	刺激性なし
臭素系難燃剤	ウサギ	刺激性なし
炭化水素樹脂	専門家による判断	刺激性なし
ポリエチレン	専門家による判断	刺激性なし
酸化アンチモン (3+)	ヒト及び動物	わずかな刺激
ポリオレフィン系ワックス	ウサギ	刺激性なし
ポリオレフィン混合物	ヒト及び動物	刺激性なし
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エチレン-プロピレンポリマー	ウサギ	刺激性なし
臭素系難燃剤	ウサギ	刺激性なし

酸化アンチモン（３＋）	ウサギ	軽度の刺激
ポリオレフィン系ワックス	ウサギ	刺激性なし
ポリオレフィン混合物	専門家による判断	刺激性なし
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	専門家による判断	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アンチモン（３＋）	ヒト	区分に該当しない。
ポリオレフィン系ワックス	モルモット	区分に該当しない。
ポリオレフィン混合物	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
臭素系難燃剤	In vitro	変異原性なし
炭化水素樹脂	In vitro	変異原性なし
酸化アンチモン（３＋）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アンチモン（３＋）	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリオレフィン系ワックス	In vitro	変異原性なし
ポリオレフィン混合物	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ポリエチレン	特段の規定はない。	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
ポリオレフィン系ワックス	経口摂取	ラット	発がん性なし
ポリオレフィン混合物	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
臭素系難燃剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	器官発生期
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.25 mg/l	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
臭素系難燃剤	経口摂取	心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
酸化アンチモン（3+）	皮膚	皮膚	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	肺線維症	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	1 年
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	1 年
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	非該当
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	LOAEL 0.01 mg/l	職業性被ばく
酸化アンチモン（3+）	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.02 mg/l	1 年
酸化アンチモン（3+）	経口摂取	血液 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/day	非該当
酸化アンチモン（3+）	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	非該当
ポリオレフィン系ワックス	経口摂取	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	90 日
ポリオレフィン系ワックス	経口摂取	造血器系 肝臓 免疫システム 皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 尿管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分 3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エチレン-プロピレンポリマー	9010-79-1	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
臭素系難燃剤	32588-76-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
炭化水素樹脂	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレン	9002-88-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエンポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオレフィン混合物	混合物	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	25038-36-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アンチモン（3+）	1309-64-4	緑藻類	エンドポイントに達しな	72 時間	EC50	>100 mg/l

			い。			
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	該当なし	推定値	96 時間	EC50	2.12 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	ファットヘッドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	17.2 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	魚	推定値	96 時間	LC50	8.3 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	液状化	実験	4 時間	NOEC	6.1 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	ニジマス	推定値	28 日	LC10	0.188 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	2.08 mg/l
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	緑藻類	実験	72	NOEC	2.53 mg/l
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	緑藻類	類似コンパウンド	96 時間	EC50	>1,000 mg/l
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	ニジマス	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	>10,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エチレン-プロピレンポリマー	9010-79-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
臭素系難燃剤	32588-76-4	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
炭化水素樹脂	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレン	9002-88-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエンポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオレフィン混合物	混合物	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合体	25038-36-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	40 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エチレン-プロピレンポリマー	9010-79-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
臭素系難燃剤	32588-76-4	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<3.3	
臭素系難燃剤	32588-76-4	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	9.8	EPI suite™
炭化水素樹脂	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレン	9002-88-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエンポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオレフィン混合物	混合物	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン共重合物	25038-36-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオレフィン系ワックス	8002-74-2	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	10.2	EPI suite™

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項 特定化学物質

化管法：第 1 種指定化学物質

消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
酸化アンチモン（3+）	三酸化二アンチモン	該当	該当
ポリオレフィン系ワックス	固形パラフィン	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
酸化アンチモン（3+）	アンチモン及びその化合物	31	第1種指定化学物質

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定。J A I A-0 0 6 3 3 4 F☆☆☆☆。

改訂情報

セクション 8：作業環境許容値 情報修正.

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。